

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 43 週 平成27年10月19日 ～ 平成27年10月25日

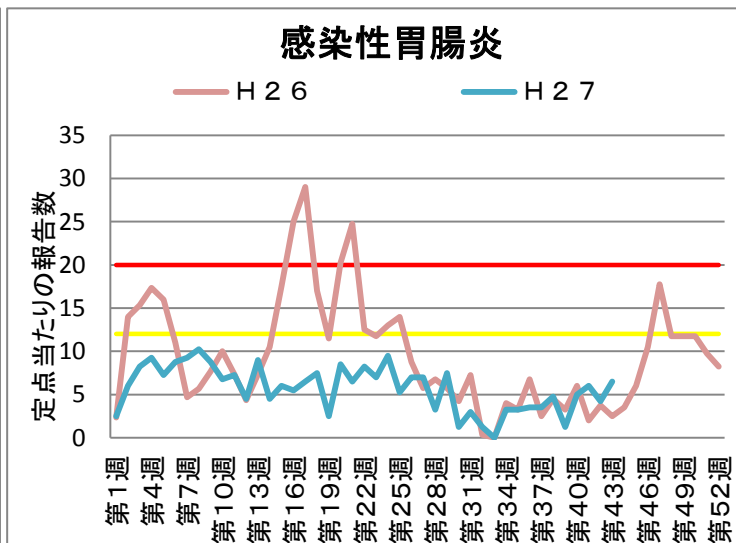
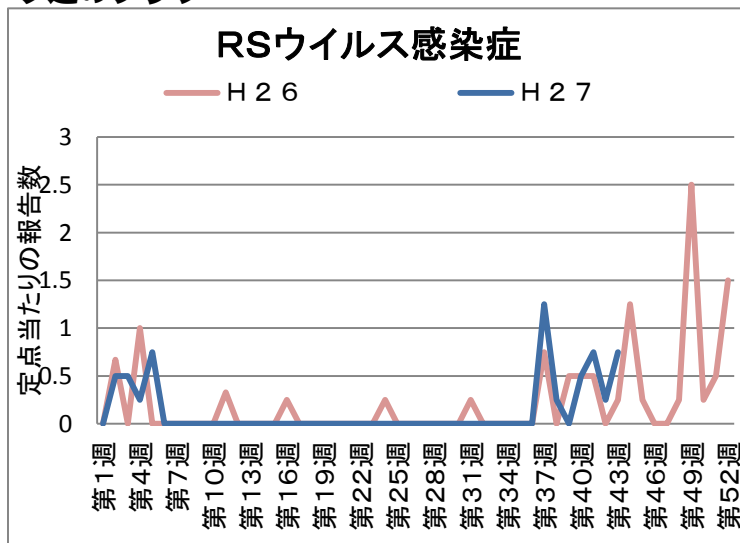
## 今週のコメント

○ RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑の報告がやや増加しています。

○ ノロウイルスによる感染性胃腸炎は例年、11～12月に増加します。今シーズンは新規遺伝子型GII.17ノロウイルスの流行拡大の可能性が予想されています。手洗いの徹底、食品の十分な加熱、嘔吐物等の次亜塩素酸ナトリウム消毒液による迅速かつ適切な処理方法などで感染を予防していきましょう。詳細は「ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）」をご覧ください。

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-)

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当りの報告数	疾病名	定点当りの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	-
RSウイルス感染症	0.75	伝染性紅斑	1
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.25	百日咳	-
感染性胃腸炎	6.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.5	流行性耳下腺炎	0.5

定点当りの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

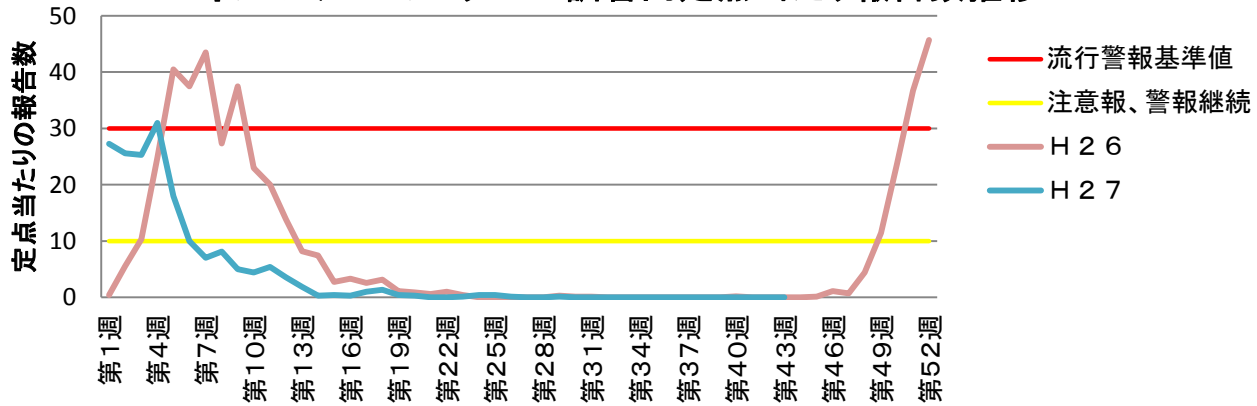
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

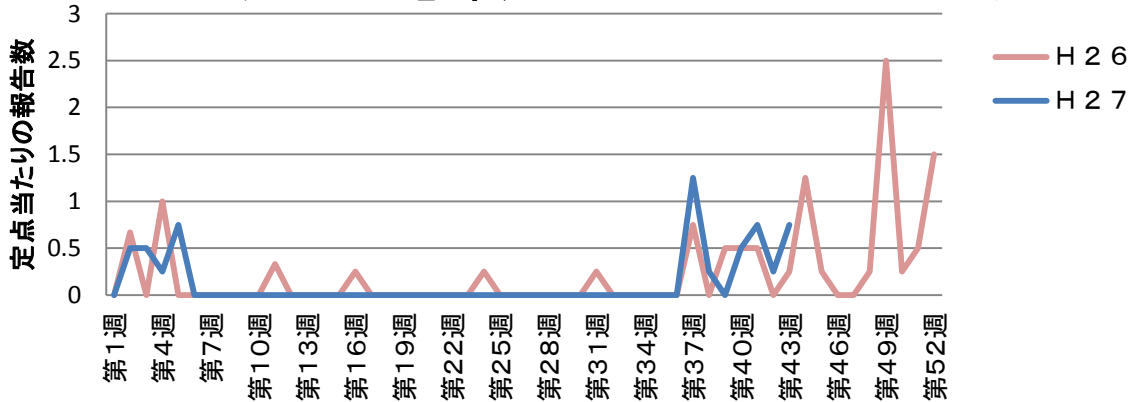
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

## 定点報告による各疾病の推移

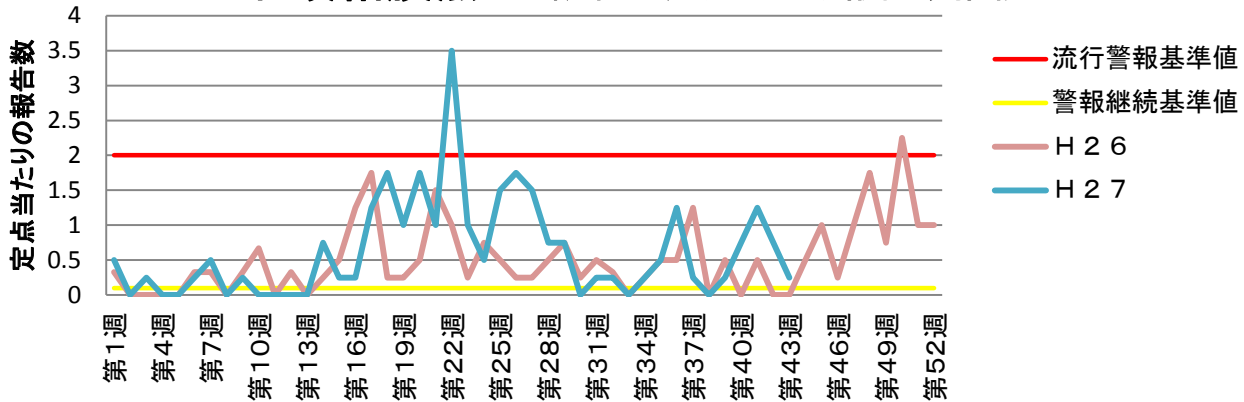
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



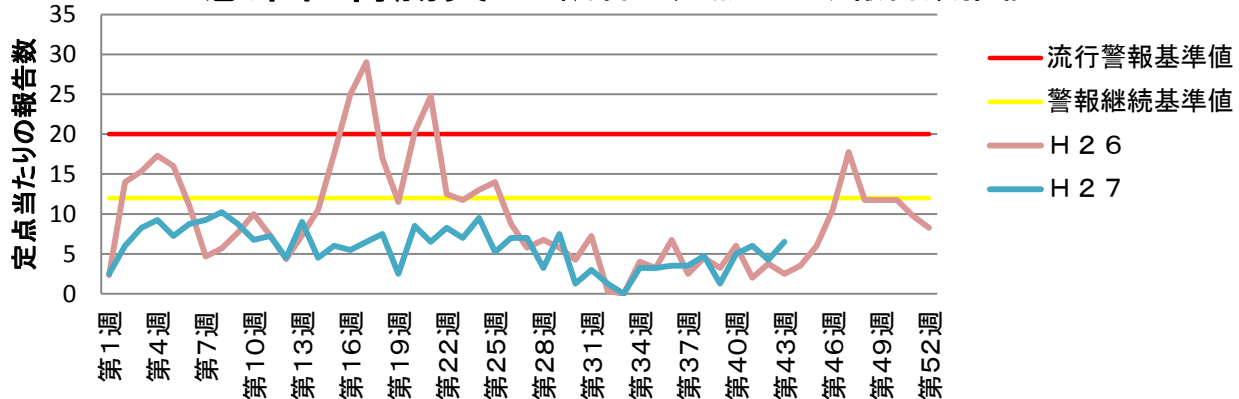
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



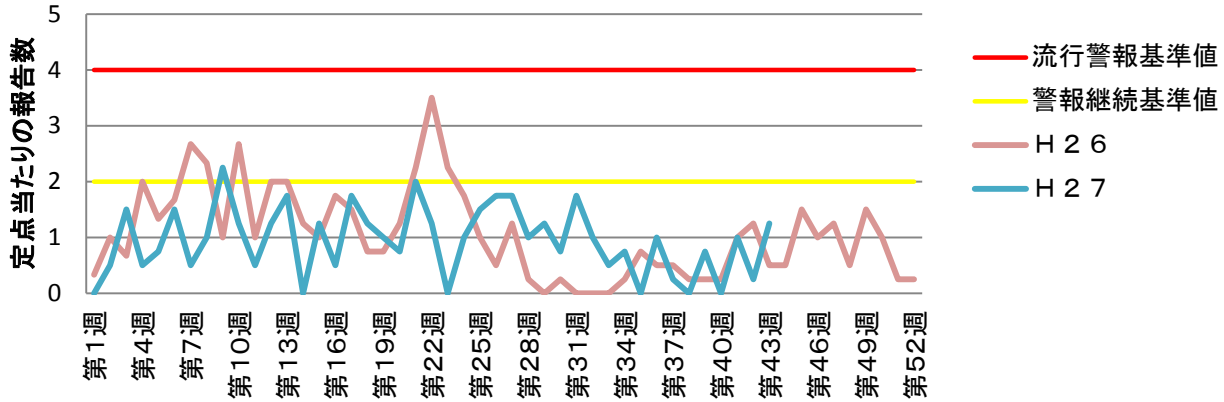
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



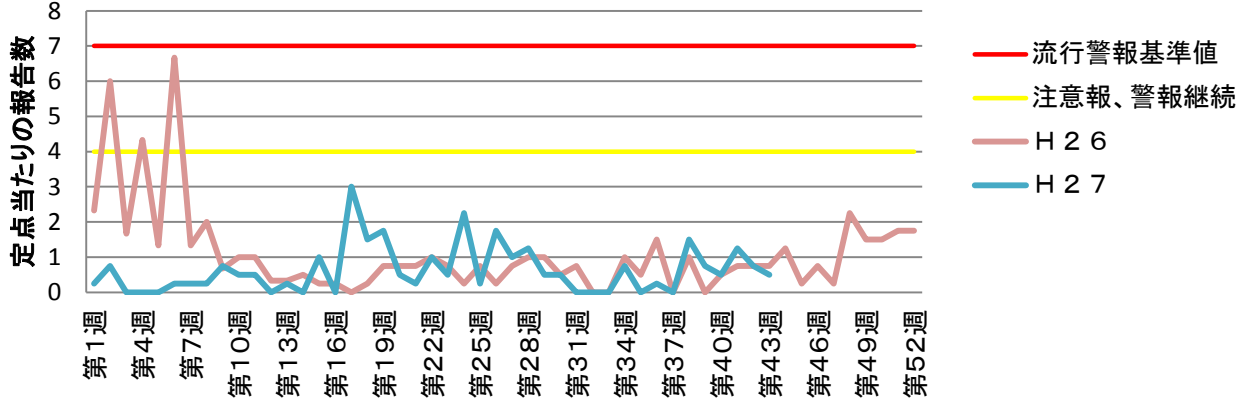
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



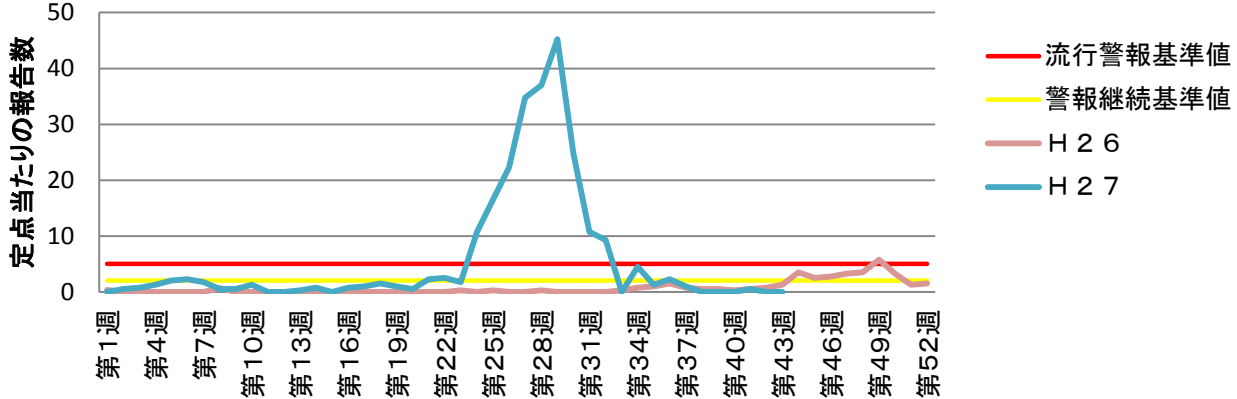
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



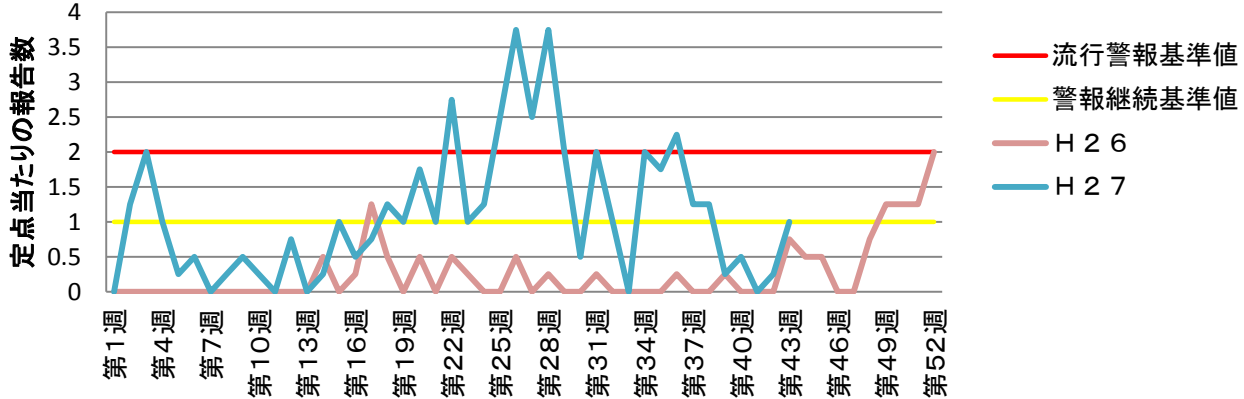
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



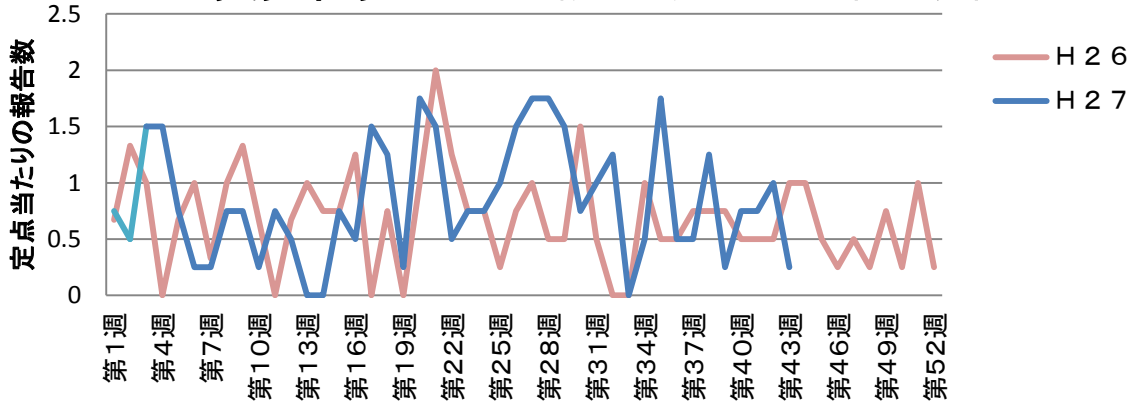
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



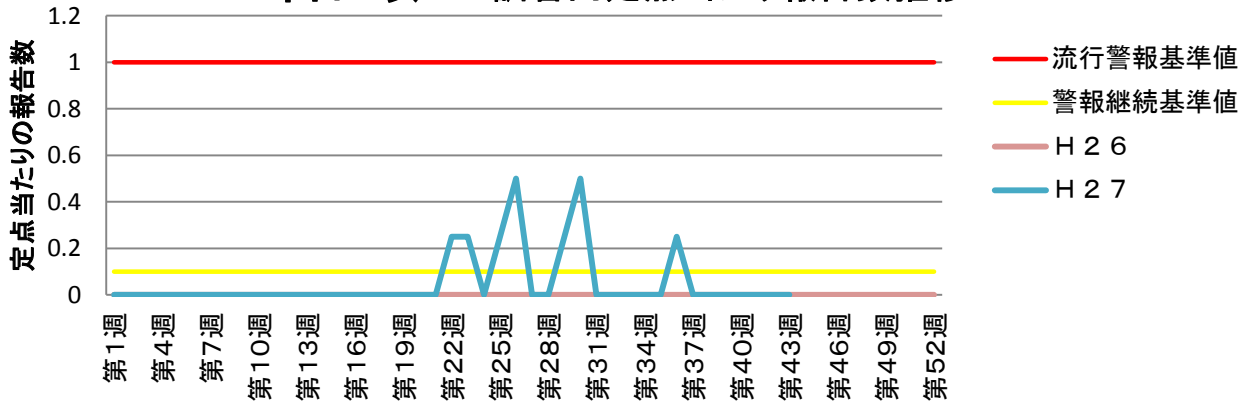
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



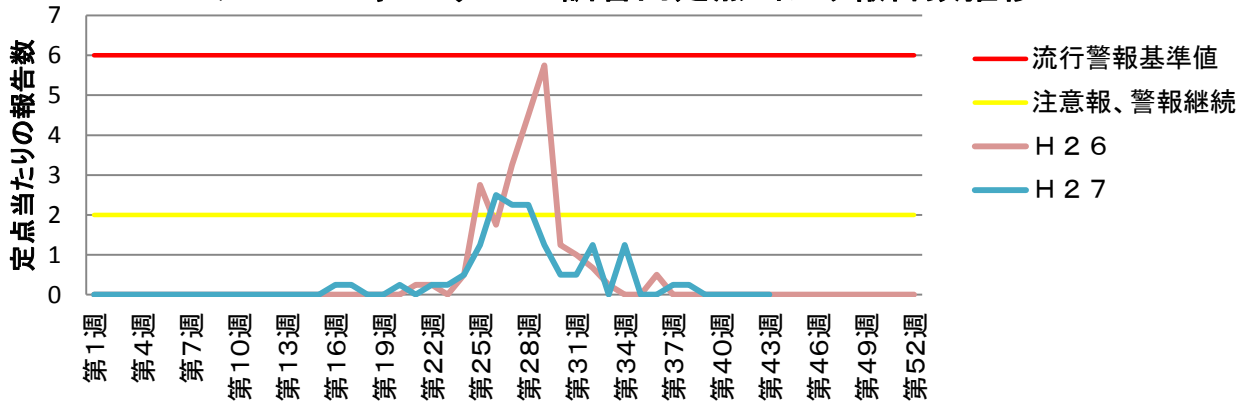
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

